

令和6年度（2024年度）事業評価結果に対する措置内容（令和7年度継続評価分）

有効性・必要性	事業数	うち意見・指摘有 ()内の数値は、意見・指摘の総件数	
1 有効性・必要性が高い	7	2	(2)
2 有効性・必要性がやや高い	36	23	(25)
3 有効性・必要性がやや低い	5	5	(8)
4 有効性・必要性が低い	1	—	—
5 効果が測定できていないため、有効性・必要性の判断ができない	3	3	(3)
合計	52	33	(38)

措置状況（R7.3月末時点）		
① 措置 予定	② 措置 中	③ 措置 済み
—	1	1
1	16	8
—	1	7
—	—	—
1	2	—
2	20	16

措置状況（R8.3月末時点）		
① 措置 予定	② 措置 中	③ 措置 済み
—	—	2
—	9	16
—	1	7
—	—	—
—	—	3
0	10	28

- ① 措置予定 [措置を行う予定だが、その方法や内容について検討中のもの]
- ② 措置中 [措置の完了には至っていないが、具体的な取り組みを開始したもの]
- ③ 措置済み [具体的な取り組みを経て、措置が完了したもの]

令和6年度（2024年度）事業評価結果に対する措置内容（令和7年度継続評価分）

評価1 有効性・必要性が高い

No.	事業名	所管部局		所見等 ※意見・指摘のみ抜粋	措置状況		措置の内容 ※令和8年3月末時点
		R6取組内容	成果(R5→R6) ※【】は最終目標を示す		R7.3末	R8.3末	
5	[観光部] 観光ポータルサイト「はこぶら」関係経費	・公式観光情報サイト「はこぶら」およびSNSの運営（委託） ・マーケティング分析（委託）	・トップページPV数（外国語版含む） 8,976,635→10,367,951【11,500,000】 ・Xインプレッション数 4,493,354→3,905,045【4,330,000】 ・Instagramインプレッション数 4,769,231→2,627,310【2,910,000】 ・facebookリーチ数 1,235,218→302,670【336,000】	◆今後、マーケティング分析の結果などを活用し検証することで、より内容の充実を図り、更なる高い成果指標を目指すべきである。	措置中	措置済み	・令和6年度のマーケティング分析の結果を踏まえ、成果指標の見直しを行い、さらに、スマートフォンユーザーが情報を取得しやすくするため、発信媒体に応じた効果的な情報発信や発信内容の検討を行い、SNSを中心とした情報発信の強化を実施した結果、インプレッション数等の指標が目標を達成した。 ・今後も継続してスマートフォンユーザーを意識した情報発信の充実およびSNS発信の強化に取り組んでいく。

評価2 有効性・必要性がやや高い

No.	事業名	所管部局		所見等 ※意見・指摘のみ抜粋	措置状況		措置の内容 ※令和8年3月末時点
		R6取組内容	成果(R5→R6) ※【】は最終目標を示す		R7.3末	R8.3末	
2	[企画部] 一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構補助金	・函館国際水産・海洋都市構想の推進母体である機構に対し、運営費および構想推進のため補助金の交付	・研究開発支援 3件→4件【7件】 ・体験学習受入数 8団体→14団体【17団体】 ・マリノフェスティバル来場者数 5,007人→8,458人【5,800人】 ・社会実装件数 ※R6新規調査 6件【10件(累計)】	◆来場者等の水産海洋に関する興味や理解度に加え、研究開発等の進捗状況を把握し、次代を担う人材の育成や新産業創出等を通じた地域経済への効果など事業の成果を適切に図る必要がある。	措置中	措置済み	・マリノフェスティバル来場者に対して、海への興味や理解促進を新たな指標としアンケートを実施した。
					措置中	措置済み	・入居機関へ研究についての照会を行い、研究開発等の進捗状況を確認し、新産業創出等を通じた地域経済への効果などを把握し、適切な成果指標を設定した。
4	[市民部] 町会交付金	・町会の自主的な活動を促進するため交付金を交付 ・組織割の合併特例措置を追加（従前の額を5年間確保）	・町会活動認知度 72.6%【77%】 ・町会活動参加率 26.8%【31.5%】 ※R6新規調査	◆公式LINEのアンケート機能などを活用した地域住民のニーズ調査の実施等により、事業の成果を適切に測る必要がある。	措置中	措置済み	・地域住民のニーズなどに関するアンケート調査を、令和7年5月に実施し、アンケート結果をもとに、町会の認知度・関心度や町会活動への参加率等を事業の成果指標として設定した。次年度もアンケート調査を行い、指標の向上に努める。

令和6年度（2024年度）事業評価結果に対する措置内容（令和7年度継続評価分）

評価2 有効性・必要性がやや高い

No.	事業名	所管部局		所見等 ※意見・指摘のみ抜粋	措置状況		措置の内容 ※令和8年3月末時点
		R6取組内容	成果(R5→R6) ※【】は最終目標を示す		R7.3末	R8.3末	
7	[市民部] 町会会館 建設費等補助金	・町会会館の建設・改築等に係る経費の一部を補助 ・合併や共同運営に伴う会館の解体に関する補助を追加	・過去5年間利用実績 49館→50館【54館】 ・地域住民の活動拠点である町会会館の存続 101館→101館【101館】	◆利用が少ない会館等については、会館の共同運営のほか、公共施設の利用等により、活動拠点の確保ができないかを検討すべきである。	措置中	措置済み	・令和7年7月に新年度予算要求に向けた会館解体の補助制度を各町会へ周知しながら町会会館の課題や要望の把握に努め、共同運営等を希望する町会は無かったが、今後、町会から要望や相談があった場合は、町会と協力し、具体的な方策を検討する。
22	[観光部] 観光宣伝印刷物 等作成経費	・統一したコンセプトでの観光プロモーションツールの一括リニューアル（パンフレット、ポスター、動画）	・パンフレット配布部数 15万部→21.5万部【12万部】 ・ポスター使用枚数 1,000枚→2,800枚【800枚】 ・動画再生回数 ※R6新規 7,126回【7,900回】	◆パンフレット等のツールが活用され、効果につながっているのかを検証し、活用方法を検討すべきである。 ◆動画の再生回数が、観光ポータルサイト「はこぶら」のトップページPV数（約900万）と比較すると著しく少ないことから、周知方法等を見直すべきである。	措置中	措置済み	・パンフレット等の紙媒体ツールについては、日本語版を年間約14万部増刷し、市内の観光施設や宿泊施設、市外における各種プロモーション等で活用している。これらは1年間を通じて配布され、年間14万部すべてが消化されており、一定の利用効果が確認されている。 ・動画コンテンツの再生状況については、YouTube上での再生回数は約1万回にとどまっているが、情報番組や宿泊施設・商業施設等において放映され、令和6年度は約300万人に視聴されており、YouTube以外の媒体を通じた視聴機会の拡大が図られている。
					措置中	措置済み	
24	[観光部] 観光案内業務 委託料	・観光客等に対して現地情報の提供など、観光案内を実施（委託）	・来所者数 90,763人→179,841人【102,000人】 ・観光動向調査における観光案内所を訪れた観光客の満足度 95.7%（R4）→未実施【96.0%】 [観光動向調査は隔年]	◆観光入込客数の総数と比較すると来所者数は少ないことから、利用者層などの分析を行い、情報発信のあり方を検討する必要がある。	措置予定	措置済み	・観光入込客数に比べて来所者数が限定的である点は、観光情報取得がスマートフォン等へ移行している影響と考えられる。 ・一方、案内所は対面相談による満足度向上・再訪意向の醸成に資する役割を担うことから、来所者属性等を把握・分析の上、現行体制を基本としつつ、必要に応じて適宜見直しを継続する。
30	[教育委員会] 南茅部地域 通学バス 管理運行業務 委託料	・南茅部地域の児童・生徒を対象に、登下校および学校教育事業時に通学バスを運行 ・対象者への案内	・対象者・率 101人(99%)→106人(99%)【100%】 ・登下校運行 1,996回→1,912回【1~4回/日】 ・その他の運行 25回→15回【随時】	◆運行ルートや時間など利用者のニーズを満たしているか把握し、対象者数にあった規模の安定的な運行を継続すべきである。	措置中	措置済み	・毎年度、利用対象者への意向確認を行うとともに、学校の日課を踏まえ、運行時間やルートの調整を行っている。 ・長期継続契約が満了する令和7年度の利用状況と令和8年度以降の利用状況を踏まえ、令和8年度からの契約における運行体制の見直し（岩戸方面の登校便について、現在の2台体制から、小学生と中学生が混乗する1台体制に変更。休日の部活動便について2台体制から1台体制に変更。）を行った。

令和6年度（2024年度）事業評価結果に対する措置内容（令和7年度継続評価分）

評価5 効果が測定できていないため、有効性・必要性の判断ができない

No.	事業名	所管部局		所見等 ※意見・指摘のみ抜粋	措置状況		措置の内容 ※令和8年3月末時点
		R6取組内容	成果(R5→R6) ※【】は最終目標を示す		R7.3末	R8.3末	
1	[観光部] 函館港まつり 開催負担金	・函館の夏を代表するイベント「函館港まつり」の開催に係る負担金を支出	・パレード参加増加 80団体12,168人→92団体13,516人 【145団体22,300人】	◆事業の成果を測るためには、沿道の観客数や参加者数の把握のほか、満足度調査などを実施し、事業を検証することが必要である。	措置中	措置済み	・観光動向調査の令和6年8月実施分（アンケート調査回答者848人）では、31人が本イベントを訪問しており、訪問割合は3.7%となった。この割合を同月の観光入込客数約708,800人に乗じて、訪問者を約26,000人と推計した。 ・今後も、観光客増加に向けて、必要に応じて実施内容の見直しを行うとともに、パレード参加団体数の確保や、満足度向上に向けた取組を進めていく。
2	[観光部] はこだてクリスマスファンタジー開催負担金	・イルミネーションを施したクリスマスツリーの点灯式や花火の打ち上げ、スーパードライブなどを展開するクリスマスファンタジー開催に係る負担金を支出	・スーパードライブ 19,262千円→20,026千円 【20,200千円】 ・12月観光入込客数の平準化指数 (12月入込客数/繁忙期月平均入込客数) 0.698(365千人/523千人)→0.722(415千人/575千人) 【(R10) 0.73】	◆事業の成果を測るためには、イベント訪問者数の把握のほか、満足度調査などを実施し、事業を検証することが必要である。	措置予定	措置済み	・観光動向調査の令和6年12月実施分（アンケート調査回答者262人）では、141人が本イベントを訪問しており、訪問割合は53.8%となった。この割合を同月の観光入込客数約415,000人に乗じて、来場者数を約223,000人と推計した。 ・また、本イベントは開催期間の大部分が12月であることから、観光基本計画に掲げるKPI（平準化指数）を細分化し、12月の入込客数の平準化指数（12月入込客数/繁忙期月平均入込客数）を新たな目標として設定した。 ・今後も来場者数を把握し、目標達成に向けた取組を検討する。
3	[観光部] 湯の川冬の灯り 開催負担金	・湯の川温泉街でのイルミネーション・ライトアップイベント「湯の川冬の灯り」の開催に係る負担金を支出	・イルミネーションの整備(R6までエリア拡大) ・満足度 【上昇(対R7)】 ・12～2月観光入込客数の平準化指数 (12～2月平均入込客数/繁忙期月平均入込客数) 0.60(312千人/523千人)→0.67(387千人/575千人) 【(R10) 0.70】	◆事業の成果を測るためには、イベントの満足度調査などを実施し、事業を検証することが必要である。	措置中	措置済み	・本イベントの開催期間は12月～2月であることから、観光基本計画に掲げるKPI（平準化指数）を細分化し、期間中の入込客数の平準化指数（期間中の月平均入込客数/繁忙期月平均入込客数）を新たな目標として設定した。 ・令和7年度には、人流データを活用した光をテーマにした冬季の3イベントの効果測定を実施することから、この調査結果を踏まえ、令和8年度の冬季3イベント統合による新たな冬季誘客イベントの開催に向けた取組を進めていく。